

一日体験学習の当日に在校生との交流を企画していました。佐高生の「生の声」を伝えられないのはとても残念ですが、佐高の1, 2年生にインタビューした内容です。

佐高に入学しようと思った理由

- ・学校の雰囲気が明るく、自分に合っていると感じたから。
- ・大学への進学率が高く、部活動にも力を入れているから。
- ・佐高は勉強だけでなく、部活動にも力を入れているので、勉強と運動の両立ができる。
- ・英語ディベートの映像を見て、自分もやってみたいと思ったから。
- ・遠くの高校に行って通学時間がかかるより、近くの高校に行って時間を有効に使いたかった。
- ・兄が佐高に通っていて毎日楽しそうに学校生活を送っていたから。
- ・父が通っていた高校で伝統もあり、高校生活が楽しかったと教えてくれた。将来の夢に近づけると思った。

学校行事（旭城大運動会、旭城祭等）について

- ・運動会は6月初めに行われるので、今まで話したことのない人とも友達になれる。
- ・運動会は中高縦割りの3チームに分かれるので、先輩や中学生、他のクラスの人とも仲良くなれる。
- ・運動会は中高で協力して行う競技が多い。特にリレーは中高合同なのでチーム一体となって戦える。
- ・旭城祭は、みんな一生懸命準備していて特に高校生はキラキラしているイメージ。
- ・運動会も旭城祭も企画、運営、準備をすべて生徒の実行委員で行っている。
- ・佐高の行事は基本的に生徒主体で自由度が高い。
- ・中学生と高校生が行事を通じて、学年の枠を越えて仲良く準備などを行っている。
- ・先生と生徒の距離が近く、生徒だけでなく、先生方も一緒になって盛り上げてくれる。
- ・どの行事も盛り上がりがすごい。みんなの顔がキラキラしていた。
- ・学年でクラスマッチという球技大会もあり、かなり楽しい。

日常の学校生活について

- ・様々な趣味を持っている人がいるので、共通の趣味から友人を作りやすい。
- ・多種多様な人がいるため、絶対に趣味が合う（気が合う）人がいる。
- ・優しく声をかけてくれる人がたくさんいて安心した。
- ・入学前のオリエンテーションの時から附属中生が話しかけてくれた。
- ・附属中生も新しく入ってくる友達を心待ちにしています。心配ありません。友達もすぐに作れます。
- ・お昼を好きな場所で食べることができ、友達と毎日お弁当を食べるのが楽しみ。
- ・性格が素晴らしい人がたくさんいる。何度も助けられた。
- ・けじめや場の状況判断がしっかりとできる人が多いので、ストレスを感じない。
- ・本当に良い友達とか先生に囲まれてとても楽しい。

放課後の生活について

- ・家では、明日の授業の予習（古典、数学、英語）と課題をやる。
- ・部活などでどんなに疲れていても最低2時間は勉強している。
- ・部活のないときは、学校の自習室を使って勉強している。
- ・18時30分ごろに部活が終わって、帰宅してから勉強。学年+2時間が目安。
- ・平日2時間から3時間勉強している。翌日の朝、起きて30分勉強。
- ・部活後すぐ夕飯を食べて勉強する。23時までには寝て、朝起きて1時間程度勉強する。
- ・部活が終わって帰宅後は、20時から22時まで勉強、睡眠をはさんで4時ごろから起きて勉強している。

学習面について 普通の授業の様子や自分自身が心がけている（努力点）など

- ・授業は顔をあげて聴く。大事なことはメモする。
- ・授業にとにかく集中する。先生が言った内容をメモしておく定期テストでミスが減る。
- ・授業の後、先生に分からないところを聞く、部活の後先輩に聞く。
- ・わからない問題は人に聞いて、絶対に分からないままにしない。
- ・疑問点を友人同士ですぐに共有して互いに教えあうようにしている。
- ・予習は、疲れていても極力やる。
- ・朝と放課後はできる限り自習室に通うようにしている。
- ・自分が間違えた問題を繰り返しやる。テストまでに問題集を2～3周する。
- ・多くの教科で問題を読む分量が増えたので、読解力をあげる必要を感じて読書する時間が増えた。
- ・少し時間を使って英単語集や古文単語集を見るようにしている。
- ・スタディサプリなどの学習動画を積極的に使っている。毎日予習・復習を欠かさない。

佐高に入学して良かったと思うところ

- ・部活や勉強など、何か頑張っている人が多いからよい刺激になる。たくさんの方にチャレンジできる環境。
- ・友達も先生も応援してくれて、人の夢や進路を馬鹿にする人がいないところがとても良い。
- ・生徒それぞれに個性があり、自身の世界観を広められた。
- ・視野を広げることができた。
- ・大学受験に対して意識が高い生徒が多いので、良い方向に焦らせてくれる。
- ・勉強では周囲に刺激される、行事の時は楽しむときはとことん楽しむメリハリがある。
- ・勉強でわからないところを友達に教えてもらえる。先生もいつでも個別で教えてくれる。
- ・先生がとても優しく、授業がわかりやすい。

高校入試についてのアドバイス（自分は佐高の入試にむけてどう取り組んだか）

- ・高校生になった自分の姿を思い浮かべて、勉強を頑張る。
- ・自分が行きたい高校について、よく調べておく。私立高校の受験も手を抜かずしっかりと取り組む。
- ・志望校はなるべく早めに決めて、その目標に向けて中1からのやり直しをする。2月くらいで志望校を変えるのは厳禁。倍率が高くても逃げずに最後まで頑張る。
- ・スマホなどの勉強に必要なものは勉強部屋に置かないようにした。
- ・一日のスケジュールなどの短期的目標を決めて、達成感を感じながら計画的にやる。
- ・カレンダーに「この日までに～する」と書き込む。
- ・受験直前でも12時前には寝て、7時間は睡眠時間を確保した。
- ・まずは、自分の苦手をつぶす。苦手つぶしが終わったら過去問。いろいろな問題を解いてパターンを覚える。
- ・模試で間違えたところを重点的に勉強する。
- ・模試と県立高校入試、私立高校の過去問をたくさん解いた。下野模試は入試問題の傾向に似ていてオススメ。
- ・1～2年の総復習を早めに取り組んで、何回も繰り返しやる。
- ・分からないあやふやな部分を洗い出して中心的に勉強した。
- ・受験勉強を続けていても、中学校の定期テストの期間は定期テスト対策に集中。
- ・寝る直前にその日の復習を10分でもやって、次の日起きてから同じことすると本当に暗記できる。

佐高で会えることを楽しみにしています。健康に気を付けて受験勉強頑張ってください。